Ver.1.32

2022.3.16

# ATV A-PRO-1

# ROI Guide with Stream Deck®

Stream Deck の準備

# Stream Deck で ROI を使用するためのガイド

# Stream Deck の設定

Stream Deck のソフトウェアをインストールします。 <u>https://www.elgato.com/en/stream-deck</u>

ATV サポートページから A-PRO-1 の Stream Deck プラグインをインストールします。

http://www.atvcorporation.com/products/videos/a-pro-1/support.html

- STREAM DECK Software がインストールされた PC/Mac で、 atv.apro1.roi.stramDeckPlugin をダブルクリックする
- 「atv.apro1.roi はインターネットからダウンロードされたカスタムアクションです インストールしてよろしいですか?」と聞かれるので、[インストール]ボタンを押す
- 「カスタムアクション"ROI"には事前設定されたプロファイルが含まれています プロファイルをお使いのデバイスにインストールしますか?」と聞かれるので、 「プロファイルをインストール」ボタンを押す

Stream Deck Software 画面 (Stream Deck XL の例) Stream Deck > 分 OBS Studio > ( Stream Deck Sub6 [2] Sub7 [2] Sub5 [2] Subl > 😥 Streamlabs Desktop Save Main1 Main2 [2] [2] Main3 [2] > 🥣 Twitter 
 Sub5
 Sub6
 Sub7
 Sub8

 [1]
 [1]
 [1]
 [1]
 [1]
 [1] > 【1】 サウンドボード Main1Main2Main3Main4Osec[1][1][1][1]0.0sec 4sec 0.2sec > 🗄 システム ~ 💽 7796 ページ: 1 2 +

### A-PRO-1の設定

ソフトウェアの準備 A-PRO-1リモートソフト「AP-USB-RS」をインストールします。

http://www.atvcorporation.com/products/videos/a-pro-1/support.html

リモートソフトウェアとの接続

A-PRO-1をUSBケーブルでPCと接続し、リモートソフトを起動します。 リモートソフトのメニューから、以下の項目を設定します。

ROI > General > ROI Enable を ON にします

ROI > General > ROI Move Damp Time を任意の数字にセットします \*\*ROIで切り出した画面から動き出しと止まり際の減速指定

System > General > System Frame Rate をカメラからの HDMI 出力のフレームレートに合わせてセットします

※カメラの HDMI 出力フレームレートはお手持ちのカメラの録画設定とは違いますのでご注意ください。

System > General > System HDCP Mode を OFF にセットします

USB Only > Others > Parameter Save を EXEC します

USB Only > Others > System Reboot を EXEC します

最後に、A-PRO-1の本体電源を入れ直します。



# A-PRO-1 プロファイル画面について

Stream Deck	- 🗆 X
⑦     Stream Deck XL ∨	Q. 検索 詳言
Sub5     Sub6     Sub7     Sub8     [2]     Zoom       [2]     [2]     [2]     [2]     [2]     In       Main1     Main2     Main3     Main4     MODE     Save	> ( OBS Studio > ( Stream Deck
Sub5         Sub6         Sub7         Sub8         (1)         Auto ROI         Auto Off           Main1         Main2         Main3         Main4         0see         2sec         4see         >	> (四) Streamlabs Desktop > (ダ) Twitter > (1) サウンドボード
パージ: 1 2 +	ک <del>و</del> کر آیا د ۲۶۷۲ ک
bx84: A-PRO-1 ROI Call	<ul> <li>A-PRO-1 ROI Call</li> <li>A-PRO-1 ROI Move</li> <li>A-PRO-1 ROI Save</li> <li>A-PRO-1 ROI Source Sel</li> <li>A-PRO-1 Physical Button</li> <li>A-PRO-1 Time Set</li> </ul>
	A-PRO-1 ROI Time Set

基本的なメニューの説明(Stream Deck XL の例)

① ROI プリセット呼び出しボタン

青字 Main1-4 は Main In からの映像を切り出して A-PRO-1 の[1]ボタンへ出力(Main Out)するプリセット 青字 Sub5-6 は Sub In からの映像を切り出して A-PRO-1 の[1]ボタンへ出力(Main Out) するプリセット 黄字 Main1-4 は Main In からの映像を切り出して A-PRO-1 の[2]ボタンへ出力(出力設定) するプリセット 黄字 Sub5-6 は Sub In からの映像を切り出して A-PRO-1 の[2]ボタンへ出力(出力設定) するプリセット

- ② プリセット間を指定した秒数で移動するボタン
- ③ 切り出しのサイズ、位置変更および保存コマンドボタン
   ※保存の場合は、Save ボタンと保存するプリセットボタンを同時押し
   ※カーソルやズームなど青字の場合は、Main In の映像に対してのみ動作。Sub In の映像に対してのボタンは 新規に作成が必要(その際は Target を[2]に指定)
- ④ A-PRO-1本体の物理ボタンと同機能のボタン
- ⑤ 各ボタンのパラメーター設定
- ⑥ A-PRO-1 用各種プラグイン(新規にボタンを作成することが可能)
- ⑦ Stream Deck の機種の選択とプロファイルの選択
   Stream Deck XL の場合は、プロファイル[A-PRO-1\_XL]を選択
   Stream Deck(15 ボタンモデル)の場合は、プロファイル[A-PRO-1\_STD]を選択
   Stream Deck Mini の場合は、プロファイルが機能別に 4 つに分かれています
   A-PRO-1Mini\_PTZ (切り出し位置、サイズを変更する)
   A-PRO-1Mini\_ROICall (保存された ROI プリセットを呼び出す)
   A-PRO-1Mini\_ROISave (切り出し領域を ROI プリセットへ保存)
   A-PRO-1Mini\_Switcher (A-PRO-1 の切替・合成等のスイッチ)

# 1台のカメラを ROI コントロールする

カメラを1台だけ接続して ROI コントロール A-PRO-1の Main In に 4K カメラを接続する A-PRO-1リモートソフトで入力されたカメラの映像が 4K であるか確認する Input>Main > Main In Format の情報が、3840 x 2160 であれば 4K です

#### Stream Deck のプリセットの使い方(XL での例)

プロファイル名:A-PRO-1\_XL

Stream Deck		- 🗆 🗙
Stream Deck XL ${}^{\checkmark}$	_ @	Q. 検索 臣
A-PRO-1_XL ↔	3	> 🕥 OBS Studio
Sub5 Sub6 Sub7 Sub8 [2] [2] [2] [2]	[2] Zoom In Zoom	> 📖 Stream Deck
Main1 Main2 Main3 Main4 [2] [2] [2] [2]		> 🚺 Streamlabs Desktop
Sub5 Sub6 Sub7 Sub8	(1) Auto ROI <b>I</b> Auto Off	> 🍯 Twitter
Main1 Main2 Main3 Main4		> <b>◀</b>    サウンドボード
	0.0sec 0.2sec 0.2sec	۵. جيرو 📑 🔇
<i>ぺ</i> −ジ: <b>1</b>		עפגת 💽 🗸
		A-PRO-1 ROI Call
		표중국 A-PRO-1 ROI Move

Stream Deck のボタンのうち青色のコマンドは Main In から入力された映像のコン トロールに使用されます

Main In に入力された映像を切り出した位置は①の青色 Main 1~4 に保存されています

プリセットでは、Main1 がヒキ画、Main2~4 までに切り出し位置が設定されていま す。試しに Main2 ボタンを押すとズームし動きます

この動きは②で指定された秒数で動いています。Osec はカットで切り替わります。 ※秒数を変えたい場合は、Stream Deck ソフトウェアの「\*sec」のボタンをクリックすると、パラメー ター設定が変更可能です。最大 20 秒まで設定が可能です。 切り出し位置を ROI プリセットとして保存する

次に切り出し位置を変えてみましょう Main 2 のボタンを押してから③の▲▶□▼▲□のカーソルを自由に動かして位置を修 正、さらに、Zoom In/Zoom Out で切り取るサイズを変えることができます サイズや位置が決まったところで、③の Save ボタンを押しながら青の Main 2 ボタン を同時に押すと、保存完了です

同じ要領で、別のボタンを保存します

これで1台のカメラでのコントロールが可能です

Stream Deck のプリセットの使い方(15 ボタンモデルでの例)

1 台のカメラを使用する場合 Stream Deck 15 ボタンの例 プロファイル名:A-PRO-1\_STD



① Main In からの映像を切り出して A-PRO-1 の[1]ボタンへ出力(Main Out)するプリセット

② プリセット間を指定した秒数で移動するボタン

③ 切り出しのサイズ、位置変更および保存コマンドボタン

#### 1 台のカメラを使用する場合 Stream Deck Mini の例

#### Stream Deck のプリセットの使い方(Mini での例)

プロファイル名:A-PRO-1Mini\_ROICall

Stream Deck	- 🗆 X
Starter Deck Mail v	Q. 検索
A-PRO-1Mini,ROliCall V	> (b) Game Capture
	> 🕥 OBS Studio
Main3 Main4 2sec [1] [1] 0.2sec	> (iiiii) Stream Deck
1	> Streamlabs Desktop
Main1 Main2 Osec [1] [1] 0.0sec	> 🂓 Twitter
	> ◀I  サウンドボード
ページ: 1 +	> 📑 אדגע

- ① Main In からの映像を切り出して A-PRO-1 の[1]ボタンへ出力(Main Out)するプリセット
- ② プリセット間を指定した秒数で移動するボタン
- プロファイル名:A-PRO-1Mini\_PTZ

Stream Deck		- 0	×
Stream Deck Mini 🗸	ciii - ciii		
A−PRO-1Mini_PTZ ∨		> 🕞 Game Capture	
		> 🕎 OBS Studio	
Zoom Zoom		> 📖 Stream Deck	
3		> 🚺 Streamlabs Desktop	
		> 🎔 Twitter	
		> <b>◀</b> I  <del>サウ</del> ンドポード	
<i>ぺ~</i> ⋽: <b>1</b> +		> 📑 ୬ス <del>7</del> ム	

③ 切り出しのサイズ、位置変更ボタン

Stream Deck	- 🗆 ×
Stroom Dock Mini X	
A-PRO-1 Mini_ROISave ~	> (b) Game Capture
	> 💮 OBS Studio
Main3 Main4 GoTo	> 📖 Stream Deck
	> Streamlabs Desktop
Main1 Main2 Save	> 날 Twitter
	> ◀I  サウンドボード
R-9: 1 + 4	> 目 ジステム

#### プロファイル名: A-PRO-1Mini\_ROISave

④ 切り出しの保存ボタン

## 2 台のカメラを ROI コントロールする

入出力の設定

A-PRO-1 リモートソフトウェアで設定する

A-PRO-1の Main In に1台目のカメラ、Sub In に2台目のカメラを入力

A-PRO-1 リモートソフトウェアで以下の設定にします

OUTPUT > Main/Sub > Sub Out Select > Sub In

これで A-PRO-1 の Main In からの映像が Main Out から、Sub In からの映像が Sub Out から、それぞれ出力されます

#### Stream Deck で 2 台のカメラをコントロールする (XL の例)



Main In に入力した映像の切り出し位置の呼出・保存は青字 Main1~4 です Sub In に入力した映像の切り出し位置の呼出・保存は黄字 Sub5~8 です

\*\*プリセットのページ 1

~->2	
Stream Deck ~ A-PRO-1_STD ~	💼 🖗
Save Osec 2sec 0.2sec	> Option
Sub7 Sub8 [2] [2] Coom I	Zoom In
Sub5 Sub6 [2] [2]	
<i>≺−5</i> : 1 2 3 +	

Main In に入力した映像の切り出し位置の呼出・保存は青字 Main1~4 です Sub In に入力した映像の切り出し位置の呼出・保存は黄字 Sub5~8 です

※Stream Deck Mini で2カメのオペレーションは可能ですがプリセットの切り替えが煩雑になりますので実用上 推奨いたしません

・Stream Deck で2台のカメラをコントロールする(15ボタンの例)

# 1台のカメラで分割演出

1台のカメラで離れた位置の2つの切り出しをスプリットで表示

設定は上記の「1 台のカメラを ROI コントロールする」と同じ設定です

Stream Deck XL でのコントロールを説明します

Stream Deck XL ~ A-PRO-1_XL ~	🏩 🔅
Sub5 Sub6 Sub7 [2] Sub8 [2] Zoom [2] [2] [2] [2] [2] Out	Zoom In
Main1 Main2 Main3 Main4 MODE	Save
Sub5         Sub6         Sub7         Sub8         [1]         Auto ROI	Auto Off
Main1 Main2 Main3 Main4 Osec 2sec 0.2sec	4sec 0.2sec
ページ: 1 2 +	

Main In から入った切り出し位置のメモリーは4つのみです 青字の Main 1~4 と黄字の Main 1~4 は同じ切取り位置だということです

例えば下記のような立ち位置での1カメ撮影だとします



Stream Deck を使って、左の人物の切り出し位置を青字 Main 2 に Save します 次に右の人物の切り出し位置を黄字 Main 3 に Save します ([2]ボタンに Main 3 の切り取り位置が呼び出されます)

そして、Stream Deck の MODE ボタンか A-PRO-1 本体の MODE ボタンを数回 押して紫色に変更します(これで Split モードになります)

この状態で、青字 Main 2、黄字 Main 3を順に押して、A-PRO-1本体の[2]ボタンを 押すと以下のような合成画面が完成しま<sup>+</sup>



Stream Deck(15 ボタン)でのコントロールを説明します

※プリセットのページ1	ページ3
Stream Deck × 💮 🔅 A-PRO-1_STD ×	Stream Deck V 💮 🔅
Save Osec 2sec 5sec 0.2sec 0.2sec	Main1Main2Main3Main4[2][2][2][2]
Main3 [1] Main4 [1] Zoom Out I Zoom In	MODESub5Sub6Sub7Sub8[1][1][1][1]
	(1) (2) STILL Auto Off
ページ: 1 2 3 +	ページ: 1 2 3 +

Stream Deck を使って、左の人物の切り出し位置を青字 Main 2 に Save します 次に右の人物の切り出し位置を青字 Main 3 に Save します ※このページで保存する必要があるため、青字 Main3 に保存します

黄枠の To Sub ボタンを押し、2ページ目の Option ボタンを押し3ページ目に移動 して、黄字 Main3 ボタンを押す。([2]ボタンに Main3 の切り取り位置が呼びだされます)

そして、Stream Deck の MODE ボタンか A-PRO-1 本体の MODE ボタンを数回 押して紫色に変更します(これで Split モードになります)

この状態で、A-PRO-1本体の[2]ボタンを押すと上記のような画面合成が完成します

# オートスイッチを操作する

ROI プリセット間を自動で往復する「オートスイッチ」

「オートスイッチ」の設定は、A-PRO-1 のリモートソフトの Mix/Effect>Fader/AutoSw>の項目で設定をします。

Auto Switch Type (赤枠) には以下があります。

- ・Off :オートスイッチを止める
- ・Input : Main In と Sub In 間を動く
- Still :
- ・ROI : ROI[1]の任意のプリセット間と ROPI[2]の任意のプリセット間を同時に動

Auto Switch Interval Time (緑枠):動いたのちに静止する時間(秒)



#### ·Stream Deck でのコントロール

Stream Deck のプリセットにオートスイッチを止める Off と ROI 間のオートスイッチボタンを追加しました。

Stream Deck XL

Stream Deck XL ~ A-PRO-1_XL ~	<b></b> &
Sub5 Sub6 Sub7 Sub8 [2] Zoom Out	Zoom
Main1 Main2 Main3 Main4 MoDe Save	
Sub5 Sub6 Sub7 Sub8 [1] Auto [1] [1] [1] [1] [1] [1]	Auto Off
Main1 Main2 Main3 Main4 Osec 2sec 4sec 12sec 0.2sec 0.2sec	c > To 2cam
ページ: 1 2 +	

Stream Deck (15 ボタン)



Stream Deck Mini (Switcher)

Stream Deck Mini ∨ A-PRO-1Mini <sub>s</sub> Switcher ∨	
Auto ROI Off MIX	
<i>≮−</i> ⋽: <b>1</b> +	

その他のオートスイッチを設定する場合は、Stream Deck ソフトウェアの A-PRO-1 用プラグインの「A-PRO-1 Physical Button」をドラッグ&ドロップして 設定することができます。 Stream Deck 各プロファイルの画面

Stream Deck  $XL(\sim - \forall 1)$ 

Stream Deck XL Y 📑 🔅 A-PRO-1_XL Y
Sub5 Sub6 Sub7 Sub8 [2] Zoom Cut In Zoom
Main1 Main2 Main3 Main4 MODE Save D
Sub5     Sub6     Sub7     Sub8     [1]     Auto [1]     Auto Off
Main1     Main2     Main3     Main4     Osec     2sec     4sec     >       [1]     [1]     [1]     [1]     0.0sec     0.2sec     0.2sec     >
ページ: 1 2 +

Stream Deck XL(ページ 2)



Stream Deck 15 ボタン(ページ1)



Stream Deck 15 ボタン(ページ2)



Stream Deck 15 ボタン(ページ3)



Stream Deck Mini(PTZ):切り出し位置、サイズを変更する



Stream Deck Mini(ROICall):保存された ROI プリセットを呼び出す



Stream Deck Mini(ROISave):切り出し領域を ROI プリセットへ保存



Stream Deck Mini(Switcher): A-PRO-1の切替・合成等のスイッチ



プラグインご利用上の注意

- AP-USB-RS Ver.1.32 以上が PC/Mac 上で起動している必要があります
- ・A-PRO-1 のファームウェアは Ver.2.08 以上をお使いください
- ・ピクチャ・イン・ピクチャ動作では ROI 機能はお使いになれません

\*STREAM DECK は、Elgato 社の製品です。弊社でのサポートは弊社が提供するプラグインに関するものに限ります。